

平成21年度の地域移行促進部会取組み予定

1 平成19年度開始後の討議で絞った目標と課題

(1) 目標

「入所施設、病院からの地域移行にあたり、自分に合った住まいを探し、安心して安定した生活ができる地域の基盤整備を推進していく」

(2) 4つの課題

住居の確保 検討済み

地域での一人暮らしを支援する体制

医療

区民の理解の活動

(3) 平成19・20年度の到達点

前期目標 手厚い支援が必要な“障害の重い人”のグループホームに焦点をあて、施設整備、支援人材・体制等のあり方を議論し方向性を出した

平成21年度からの障害者計画に、施設整備と支援について反映された

「グループホーム・ケアホームの設置・運営のガイドラインを作成する」提言をし、平成21年3月から区の検討会で具体化中

(4) 評価と課題

住居の課題の枠組みを共有することができ、その柱が行政計画に反映された。

「ガイドライン作成」にむけた区の検討が進行している。またグループホーム等世話人情報交換会、同・立ち上げ支援プロジェクト、同・運営事業者間情報交換などで主体的な実践が進み始めている。

今後、これらの取組みの到達点を検証するとともに、住居の確保を推進する課題の見直しと、更なる検討・具体化が必要。

2 平成21年度取組みは

(1) 地域での一人暮らしを支援する体制を確保するための二つ目の課題である「医療」について現状と課題・取組み方向を検討することとしたい。

(2) 平成19からの精神・知的両面からの地域移行の到達点と課題について、継続した地域での暮らしに関し、医療の課題に焦点を置き検討する。

<参考項目>

- ・入院・入所時の生活・医療目標の設定状況、地域移行にむけた生活と医療イメージと本人の受けとめ
- ・退院・退所時の生活・医療継続の目標設定状況と課題
- ・地域医療受診機関情報の状況と対応、円滑な受診を得るための受診時の自己情報提供策
- ・服薬、モニタリング、カウンセリング、状況変化の把握と相談支援、障害特性に対応した医療確保は

取り組み方針

	テーマ	議論の方向	成果の方向
1	安心して受診できる医療機関情報を作成する	いかに困っているか？必要性、どのようなものを求めているか、などを論議	区への提言を行う
2	本人の症状が医療機関によりよく伝えられるために	本人の声、モニタリング、他の自治体が行っているものの取り寄せ、検証	地域移行促進部会で素案を作り、見える形で
3	継続した治療、医療的な支援、服薬管理への支援など人的支援体制の仕組みづくり	<p>【精神障害者に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入退院を繰り返さないために、退院早期の段階でどういう支援をするか。の仕組みをつくる。 <p>【知的・身体障害者に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ですっと生活していくために、長期的に支援していく仕組みをつくる。 	<p>地域移行促進部会にて、グループ別討議をする。</p> <p>関係機関に集まってもらい、ネットワークを構築する。</p>

- ・ グループ討議では必要な関係者を適宜集めながら論議を行う。

スケジュール(案)

回	日程	内容	グループ討議	自立支援協議会
第1回	8月26日	今年度の方針確認 ・グループ討議の顔合わせ、議論の進め方		
		(グループ別討議)	2回程度	
第2回	11月中旬	グループ別討議 自立支援協議会への報告内容の確認		中間報告 (12月)
		(グループ別討議)関係機関との協議など	1回程度	
第3回	2月上旬	今年度の成果等 来年度に向けて		年度の報告(3月)